

令和2年度（第3期）事業計画書

一般社団法人パーソナルサービス支援機構

I. 事業期間

令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

II. 事業の実施方針

1. 事業計画の重点テーマ

前年度は様々な助成金を受けることができ、この大隅地域において社用車が1台確保できたことは事業の伸展を大きく進めることのできた最大の要因である。しかも、自己資金での入手ではなく、「この地域には無かった新たな社会資源の出現を応援しているところがある」というアピールにもなったことは、この1年間、様々な企業や事業所、地域の方々のご協力や応援を得られたことに証明されたと言ってもいいのではないかと。

その一つとして、農業法人である株式会社オキスとの連携協定は大きな収穫である。「就労体験および職業学習の場の提供」→「不登校やひきこもりなどの生きづらさを抱えた方の支援」→「人材確保と人材育成」というのを、障がい者支援などの枠組みにとらわれることなく、すべての働きたいという思いのある方を対象に実施できる。そのために、鹿屋農業高校の通級指導対象生徒の課外授業の場としても活用できる仕組みとなっている。

働きたくてもその一歩が踏み出せないという方のほとんどは自動車運転免許を取得しておらず、それはこの大隅地域では就職するのに致命的でもある。しかし、そういった方をこの取り組みの中では送迎つきでサポートできるので、利用していただける幅がより広がる。

また、このスキームにはいくらかの生産性も生じるため、ただの就労体験の場の提供でなく、株式会社オキスから社会貢献という意味も含めた資金が出るので、当法人の運営も助かる。

このような形での収入源が増えると、補助金や助成金に頼らない運営に繋がっていくので、今回の連携協定を成功させていきたい。

2. 周知・広報活動

引き続き、大隅地域に必要な社会資源として認知していただくために、積極的な広報活動と営業活動を行う。連携しうる行政機関や支援組織等を一貫的支援のおおよそ順に挙げると、

- ・公立小中学校、高校 ・教育委員会(行政) ・児童家庭支援センター ・養護養護施設
- ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・子ども若者総合相談センター
- ・引きこもり地域支援センター ・子育て支援課(行政) ・福祉政策課(行政)
- ・こども福祉課(行政) ・県生活困窮者自立支援相談機関 ・県弁護士協会 などとなり、パンフレット・チラシ・ポスターを作成し、広く広報する。合わせて、ホームページやSNSといったネット媒体での広報も行っていく。

就労支援の一環として、就労体験や職場見学の受入れ企業や事業所の開拓をおこない、支援の出口対策だけでなく、地域共生の社会をめざす取り組みを進める。

1周年を記念したシンポジウムには定員を越す参加があり、相談会や養成講座などにも多くの方がご参加くださり、そういった方々からの口コミも増えている中で、しっかりした組織づくりをおこなっていかねばならない。

Ⅲ. 事業の実施に関する事項

1. 体制について

(1) 役員

- ・理事：大倉一真(代表理事)、谷川勝彦、谷口絵里子
- ・監事：吉永智恵

(2) 職員

- 常勤 大倉一真、谷口絵里子（以上2名）
- 非常勤 一松ちあき、中島巧琳、大倉結希（以上助成事業従事3名）

2. 事業内容

[本体事業]

「PSスクールかのや」

- ・通信制高校等学習サポート
- ・フリースクール
- ・リカレントスクール(生涯学習)

「かのや自立就労サポートセンター」

- ・相談活動
- ・はたらく準備プログラム（各種セミナー、職業訓練、職場体験）

「おおすみ子どもアドボカシーセンター」

- ・子どもなんでも相談
- ・子どもアドボカシーの周知活動

[助成金事業]

「医療福祉機構（WAM）」

- ・子どもの居場所支援
- ・寄り添い支援地域ボランティア育成
- ・仕事体験プログラム

[その他事業]

「かごしま8050ネットワーク事務局」

- ・相談受付および支援コーディネート
- ・ネットワーク会員情報メール配信